あきない

報 満

# UI

2020.1





商店街・市場探訪 様々な人々の心を魅了し、動かす町 花岳寺通商店街

お客様の心からの笑みを引き出す美容室を目指して

Personal Studio cocoro

トピックス in ひょうご

商売繁盛の裏ワザ

西明石パパたこ商店会

西明石北商店会

トピックス in 全国版

AKINAL

マルシェ型マーケットでにぎわいを取り戻す商店街

新町商店街~京都府福知山市~

お店拝見

ファンが通うこだわりのパン屋さん パン工房 幸福堂

### 商店街・市場探訪

様々な人々の心を魅了し、動かす町

### ~花岳寺通商店街~(赤穂市)

JR 播州赤穂駅から南へ伸びるお城通りを 400 メートルほど下ると東西に交差する小路があります。古くは江戸時代、浅野家等赤穂藩歴代藩主の菩提寺である曹洞宗花岳寺の門前町を祖とする花岳寺通商店街です。正式に商店街として発足したのは昭和 2 年で、花岳寺前よりさらに西方にも商店が軒を連ね、この通りだけでも 40 近い店舗がありました。都市計画で街並みが整備されてきたこともあり、やがてその中心は次第に東へと移っていきました。近隣にも数十の店舗を擁する通りがいくつかありましたが、いずれも大型店の進出や廃業により店舗が減少したことから、平成 12 年、お城通商店街、田町商店街と合併し、現在は 34 店を擁する花岳寺通商店街を形成するに至りました。





花岳寺

### ■赤穂で最もアクティブな商店街

かつて赤穂市内にはいくつもの商店街がありまし たが、現在では、正式に商店街と呼べる通りは4 か所だけとなってしまいました。いずれも客数の減 少や店主の高齢化等による廃業によりかつての賑 わいや活気が失われつつあります。その中にあって 花岳寺通商店街は最もアクティブな商店街といわれ ています。ともや手芸店の尾上友宏氏は10年近く 振興組合の理事長を務め、その間にさまざまな取 り組みを行い商店街を盛り上げてこられました。近 年では、「花岳寺界隈にぎわい市 レトロさんぽ」 や「Happy ハロウィーン」など地域内外の人が参 加できて楽しめるイベントを多数実施しています。 2017年と2018年に実施した「花岳寺界隈にぎ わい市 レトロさんぽ」は、空き家再生や街並み 保全の活動をしている NPO 法人を営む方からの 提案で実施することになりました。この方は、花岳 寺通のレトロな雰囲気に魅了され、イベントの提案 に留まらず空き家の入居者の誘致にも尽力された 結果、昨年の春には古民家を再生した旅館が新た に開業に至りました。レトロさんぽの実施にあたっ ては赤穂のまちづくりに貢献する女性グループ「お かん部」の方の熱心な協力も得て盛況となりました。 また、昨年5月、6月に実施した「健康ウォーキン グ」も市内の医療関係者のボランティアグループの 提案で実施され、毎回30名の方が参加されました。

健康増進も兼ねて町中を歩いてもらう企画ですが、そのルートにはこの花岳寺通も組み込まれ、商店街の魅力発信に一役買っています。このように、外部の人との連携や協力がさかんなことも花岳寺通商店街の大きな特徴です。レトロな街の雰囲気だけではなく、尾上理事長をはじめとした街の人たちにもきっと、様々な人々の心を魅了し、動かす力があるのでしょう。





レトロさんぽ チラシ

### ■ 100 年近く続く夜店は、赤穂の夏の風物詩

昭和4年に始まり、間もなく100年を迎えようとする「土曜夜店」は、今や商店街のみならず赤穂を代表する夏の風物詩となっています。土曜夜店は、毎年6~7月の土曜日ごとに開催され、毎回6,000人近い人が集まります。露天商のみならず、



土曜夜店

音楽ライブやダンス、赤ちゃんはいはいなど大人から子供まで楽しめるさまざまなイベントが催されます。イベントの大部分は商店街の方が自ら企画し、近隣の人々や学校、ボランティア団体等に声がけし参加を募ります。また、手づくり品を販売するスペースには遠方からも参加を希望する人が後を絶たず、今では、参加希望者が多すぎてやむを得ず断るケースもあるなど大盛況となっています。商店街のイベントは、どちらかというとマンネリで一方的な企画に終始しがちですが、花岳寺通商店街の土曜夜店は、商店街の活動が地域を巻き込み、地域の文化として根付いた好例といえます。

### ■個店の活性化と次代の担い手創出が課題

地域や外部からの協力やネットワークの力を得 て精力的に活性化に努めてきた花岳寺通商店街で すが、課題もあります。その一つは、イベントを めがけて人は集まりますが、それが個店の活性化 につながりにくいことです。これは何処の商店街 も同じ悩みです。かつては、夜店の日はどの店も 自ずと売上が上がったものでしたが、今はそうで はありません。目の前に来ている人になんとか店 の中に入ってもらう工夫が必要となっています。そ して二つ目は商店街の次代の担い手を輩出するこ とです。多くの店主は60歳前後となっており、廃 業する店舗も出ています。一方で、ともや手芸店、 たなべ花店、岩佐屋製菓店のように有望な若手後 継者がいる店舗もあり、決して悲観的ではありま せん。若い店主が中心となって花岳寺通を盛り上 げ、商店街の新しい時代を作っていく準備はでき つつあります。また、シャッターが閉まっている空

き店舗にも若い人が入ってくることでさらなる若返りも期待できます。古民家の再生にみられるようにその可能性を十分に感じさせる商店街です。

花岳寺通商店街では、数年前にレトロな街並みを 活かして映画の撮影も行われました。見慣れた人に は小さな古びた商店街にしか見えないのかもしれま せんが、見る人によっては魅力がいっぱい詰まった 宝箱のような街に映るのです。

元禄から昭和の長い歴史に培われたレトロな雰囲 気とそれを支える人や店の魅力を求めて地域の内外 から人が集まり、再び賑わいを取り戻す、その息吹 が感じられる商店街です。

(中小企業診断士 木之下 尚令)



左から会長の尾上会長・田辺さん・坂元さん

### 花岳寺通商店街

住 所:赤穂市加里屋 2069 電 話:0791-42-2705 会 長:尾上 友宏

# 商売繁査□裏フザ

お客様の心からの笑みを引き出す美容室を目指して

### Personal Studio cocoro

山陽電車と神戸市営地下鉄の二線が交差する板宿駅からほど近く、南へのびる大通りから西へ路地を入ったところに訪問美容ココロの実店舗「パーソナル スタジオ ココロ」はあります。予約されたお客様一人ひとりに丁寧に向き合うため、店内の椅子は一脚だけ。また、年齢や身体の不自由さに気後れすることなく来店してもらえるよう店舗を完全にバリアフリー化しています。そして、誰もが持つ「綺麗でありたい」の想いを形にすることで、お客様の心を浮きたたせています。



### ■訪問美容を始める

代表の黒木さんは、かつては他の 美容室に勤めていましたが、結婚し 3人の子育てが始まったため、長時間勤務が困難とな



訪問美容の様子(ホームページより)

り、美容室を退職しました。

そして、子育てのかたわら、NPO 法人にスタッフとして入り初めて訪問美容に携わるようになりました。しかし、7年を経過した頃に所属していた NPO 法人が突然活動を休止する事態となり、当時の美容スタッフの仕事を確保し、お客様にもご迷惑をお掛けしないようにと思い、一念発起、黒木さんは平成 22年6月に自宅を事務所にして「株式会社 訪問美容ココロ」を立ち上げました。非営利法人ではなく株式会社にした理由は、当社が堅実な利益を上げれば、今は活動していない技術のある美容師が訪問美容の業界に入るきっかけとなり、生活の基盤づくりのできる安定した職業となり、より多くの方がご自宅や施設の中ででも、美容で笑顔になれると考えたからです。

#### ■事業継続を目指して

当時の訪問美容は美容師がボランティアとして高齢者施設に赴き施術しており、見習い美容師の練習として派遣する美容室もあり、訪問サービスを有料にしても低い価格設定になりがちでした。

そこで黒木さんは、訪問美容を心待ちにしてくださ るお客様のためにも、低収益から脱却し事業を安定 して継続できるようにしなければならないと考え、お客様の様々な要望に応えられるようサービスの充実と品質の向上に努めていきました。寝たきりの方の髪のシャンプーやカットだけでなく、訪問先でのヘアカラーからパーマまで、お客様の「こうして欲しい」を叶えるべくスタッフも交えて勉強会を重ねていきました。また、介護美容師として専門的な知識を得るための研修も受講することでお客様の納得を得ながら施術価格の上昇を図りました。

現在、訪問美容の経験が5年以上になる方も含めてスタッフは15名となり、神戸市内を中心に東は芦屋市から宝塚市、西は明石市、加古川市、北は三木市や三田市まで訪問しています。

### ■完全バリアフリーのサロン開店

開業当初から、いずれ美容室の店舗を構えようと 考えていました。訪問するお客様の「高齢になっても、 身体が思うように動かなくなっても、以前と同じよう に美容室に出かけて髪を整えたい」という想いに応 えたかったからです。

まずは、介護サービスの手続きをした後などに来店しやすいよう須磨区役所の近くで物件を探し、洋菓子店が目の前にあり、付き添いで来られた方にとって施術する間に寛いで待てる場所になるのではと考え現在の店舗に決めました。

平成 29 年に兵庫県で初めてのバリアフリーサロン「ココロ」をオープンしました。車椅子で入店できるようスロープを付け、店内には手すりはもちろん、お客様の身長や体格によって高さが調整できるシャンプー台、さらには病気や障害が原因でストーマと呼ば







店内の様子

れる人工の肛門や膀胱を保有されている方にも対応 したトイレを設置しました。

この独自の取り組みが『第5回ひょうごいいね!お店表彰こだわりサービス部門大賞』受賞にも繋がりました。

#### ■作業をしているのではない

施設訪問では短時間に多くの方の髪をカットすることを求められます。個人のお客様の中には認知症の方や引きこもりの方もあり、時に荒々しい言葉を投げつけられることも、また納得のいく施術ができにくい状況もあったりと、厳しい場面に遭遇することもあります。

それでも、訪問美容に携わられている代表の黒木さんもスタッフの方々も、店舗を運営されている桑迫さんも、お客様の希望を汲み取り、その実現に向けて日々挑戦されています。例えば、訪問先の寝たきりの方がヘアカラーを希望されれば洗髪用の重い機材を持って出かけます。店舗の方では、シャンプー台を低く調整しても首が届かないお客様にはスロープ型ステージを使い車いすのまま洗髪できるよう工夫しています。

そこには「ヘアカットは単に髪を短くする作業ではなく、お客様が毎日を明るく楽しく心から美しくなれるための美容であるべきと考えています。また、日頃はベッドから出ない人が、施術を受ける時だけ立ち上がろうと頑張る。引きこもりの人が外へ出るきっかけになることもある。髪が整えられたご自身の姿を見て思わず笑みがこぼれる。その瞬間に立ち会えるのが私たちにとっても喜びであり、原動力です。」という考えがあるからです。

### ■最後まで寄り添う美容室を目指して

令和元年 7 月、装いも新たに店名を「パーソナル スタジオココロ」と変えオーガニックを主体としたメニューを主体としてバージョンアップしました。

黒木さんはその意図を、「これまではハンディキャップのある方専門の店というイメージがありましたが、今後は健常なお客様も入り易くするためです。そして、若い頃に通い始めた美容室が、年老いた時には自宅まで来て髪を切ってくれる。最後までお客様に寄り添い、"綺麗でありたい"をお手伝いできる存在になりたい。それが身近にある地域の美容室の使命だと思うからです。」とおっしゃいます。

お身体の状態や年齢に関係なく、目の前のお客様の"心からの笑顔"を引き出すために「ココロ」のスタッフの方々は力を尽くされています。



(中小企業診断士 齋藤 晴美)



左から黒木美留子代表取締役、桑迫孝子店長

### 店名

### パーソナル スタジオ ココロ

住 所:神戸市須磨区大黒町3丁目3-2 ドミトリー板宿101号

店 長:桑迫 孝子 電 話:078-742-7739

U R L: https://studio-cocoro-kobe.com/

営業時間:10:00 ~ 18:00 定 休 日:毎週木曜・第二第三日曜

◆法 人 名:株式会社 訪問美容ココロ

◆住 所:神戸市須磨区車字古川 1333-1-216

◆代表取締役/管理美容師:黒木 美留子

◆電 話:078-741-4567

◆U R L:https://www.hb-cocoro.co.jp/

◆営業時間:9:00~17:00

◆定 休 日:日曜日



### 西明石パパたこ商店会

~西明石北商店会~ (兵庫県明石市)

西明石北商店会は、JR山陽本線西明石駅北側の半径1km以上の広範囲に及び、物品販売・飲食など実に多様な業種の会員数52事業所から構成されています。その特徴を一言で表現するならば、"あたかも、パパたこを主役にドラマを描いていくようなストーリーで、活発な活動を展開し、現在も成長中の商店会"と言えます。ところで、そもそも"パパたこ"は、明石と淡路島を

結ぶたこフェリーで親しまれたキャラクターでしたが、どのような経緯で商店会活動に結びついていったのか、まずはその経緯から探っていきましょう。



### 1. シンボルは"パパたこ"、ひたすらアピールするのは"パパたこ"

約50年の歴史を誇る西明石北商店会で、青年部が平成28年に発足し、青年部の企画により、「パパたこ商店会プロジェクト」がスタートしました。広いエリアのどこが商店会かもわからないという状況下で、会員としても「わかりやすい旗印が必要」というのが原点となりました。鳥取県境港の水木しげるロードや、熊本県のくまモンも参考となりました。

さて、これまでに取り組んできた具体策は、「パ パたこモニュメントの設置、明石市制 100 周年と タイミングに合わせてのイルミネーション点灯、賀 正ポスター制作・交付」に加え、「会員同士の交流 会開催による情報交換や、パパたこ TIMES という 名の会報誌を会員と一般の方に交付」、「種々の補 助金の活用」など、枚挙にいとまがありません。の みならず、休止していた夜市が昨年7月に新たにパ パたこ夜市として復活し、約2千人のお客様が訪れ、 お配りした団扇を使って商店会への LINE 登録をし てくれた方は350名にのぼりました。ところで、会 員募集時に「月額費用として、会費は2千円、広 告料は5千円」という仕組みがあります。広告料を 負担した方は、「無料で街路灯に店名が入ったり、 年1回の研修旅行が無料」といった利点があります。 さらに、パパたこのホームページ(注:末尾に URL を記載)に加盟店情報が載ったり、会員はお買い 物キャンペーンのイベントに参加できるなど、会員メ リットが明快です。また、西明石おもてなし事務局 と西明石グルメフェス実行委員会と連携し、「西明 石 おもてなしマップ」の発行にも継続的に取り組 んでいます。

勿論、JR 西明石駅でのお出迎え役は、石碑のパパ



たこです。また、この度はお正月におめでたい「祝い5膳(注:プレゼント用のお祝い箸が5膳入ったグッズ)」もできました。即活ました。即活ました。の話すべてが"パパたこがならに、不動産屋さんやできらに、不動産屋さんやお店さんなど、個々のお店するという動きも見え始めています。



街路灯の広告





駅前にあるパパたこの石碑

### 2.目に見える実績をあげ続けている原動力

パパたこプロジェクト も開始当初は目立った実 績にも乏しく、「パパた このまち 西明石」と公 言するのがはばかられる 面があったことも事実で す。この頃にも、青年部 の親会にあたる商店会 の毎月行われる役員会 では、黙って青年部のス タートダッシュを見守って くれました。

このような経緯を経て今、「パパたこへの絞り込み」を提唱した青年



パパたこイルミネーション

部会長の古志利宗さん、事務局としてアイデア提案 や補助金活用他を担う山田梢さん、同じく販売促進 面担当の川根洋範さんらがいわば推進のエンジン役 と言えますが、新たに青年部の中で豊かな行動力を 発揮する方も生まれています。他方、"パパたこ"を 主役に押し上げるために、平成29、30年度には 兵庫県の「商店街次代の担い手支援事業」を活用 しています。

ところで、「親睦を超えるような会内での交流、 会合時には多くの様々な意見が出るようになった。 一例としてまち全体のことを見据えていこうといった 意識の高まりと共に、前述の、目に見える具体策の 数々」などの実績は、より多くの方々により力強く 参画していただくための、今後に向けての大きな求 心力となることでしょう。

### 3. 先を見据える視線と、一歩前への歩み

「西明石北商店会=西明石パパたこ商店会」を、 地域住民の皆様や幅広い方々に認知いただくこと、 及び、より一層の活動実績の積み重ねは、まだまだ 発展途上です。その中で、「商店会が今の元気な内



パパたこ(ホームページより)

に次のことをやろう」を合い言葉に、将来に向けて の目配りと実践は、青年部の内外で良い意味で日課 のようになっています。昨年7月のパパたこ夜市で、 「こんなにも数多くの若い親子連れがお見えになっ た」という光景を目の当たりにして、青年部の皆さ んも率直に驚かれたそうです。そこで、次の総会で は「賛助会員のシステム」を提案する予定です。即ち、 会員数も青年部メンバーも増加中ではありますが、 一般市民の方も加わって応援いただこうという試み です。また、「パパたこが真ん中に座ったベンチの 新設、石碑巡りのアピール」など、今後に向けての 具体策も目白押しです。パパたこにちなんだ新商品 やメニュー開発といったアイデアにも溢れています。 皆様方におかれまして、新幹線、在来線のいずれで も西明石駅を利用された際には、是非一度、"パパ たこ"に会いに来られては如何でしょうか。

(中小企業診断士 投石 満雄)



商店会のみなさん

### 西明石パパたこ商店会 (西明石北商店会)

住 所:兵庫県明石市和坂 12-7 西明石ホテル内

電 話:078-928-0246 会 長:山田 雅仁

URL: https://papataco.jp/





LINE

ホームページ

### ピップス in 全国版

マルシェ型マーケットでにぎわいを取り戻す商店街

### ~福知山市新町商店街~

(京都府福知山市)

福知山市は京都府の北西部にあり、西は兵庫県に接しています。また、丹波、丹後、但馬により形成される「三丹地域」の中央部に位置します。当地は日本海と瀬戸内側を結ぶ中継地点にあることから、山陰道の陸運、由良川の水運で古くから栄えました。特に、明智光秀が福知山城を築いて以降、江戸期を通じて城下町として栄えたことから往時のまち割りが今も残っています。

明治以降も32年に大阪(現JR福知山線)、43年に京都(現JR山陰本線) へと鉄道が開通し、北近畿の交通の要衝、商都として発展してきました。

新町商店街は、JR福知山駅から15分程度と離れていますが中心市街地にあり、全蓋式のアーケードを持つ約330mにわたる商店街です。ピーク時には90店ほどが軒を連ねていました。

しかし他地域同様、人口減少や少子高齢化、モータリゼーションの進展などにより商店街は衰退し、シャッター通りと化していました。



福知山市中心市街地活性化基本計画より



### ■取り組みの始まり

このような状況を受け、市は中心市街地活性化基本計画(2011年3月25日認定)を策定し、まちづくりに取り組んできました。この取り組みの中で設



取り組みの中で設 ングプロジェクト紹介ページより)

立されたまちづくり会社で空き店舗問題などに関わっていた庄田健助氏と美作歩氏(現在、二人はまちづくり会社を離れマーケット実行委員会の共同代表)が中心となり、新町商店街内の若手経営者が開業したカフェに常連客として集っていた有志とともに「まちをより良くしたい」「市民発のにぎわい創出を」と実行委員会を立ち上げました。

実行委員会では月1回の会合を重ね、事業を検討しました。その中で出てきたアイデアが「空き店舗を活用してくれる起業家を育てるためのマルシェ型の定期市」です。開催する商店街も複数検討しましたが、最終的に新町商店街に声をかけました。その時に窓口となったのが、商店街組合の専務理事だった公庄祥氏です。商店街としては過去にフリーマーケットを実施していましたが10年で中止した経緯があることなどから戸惑いもありましたが、公庄氏は可能性を感じ、理事長の了解を得て実施することにしました。

#### ■福知山ワンダーマーケット

定期市は「福知山ワンダーマーケット」と名づけ、2016年の10月にスタートしました。実施は毎月第4日曜日です。マーケットのコンセプトを「豊かで丁寧な暮らしを楽しむ」とし、商店街内の空き店舗前や駐

車場などの空きスペース にテーブルを置き、手づ くりのパンやスイーツ、ア クセサリー等の雑貨など こだわりの商品を並べま した。

当初の出店は30店ほどで、募集はFacebookや実行委員会メンバーによる近隣マルシェ出店者等への声がけで行いました。出店者は、起業と





マーケット当日の様子 (福知山ワンダーマーケットHPより)

いう視点で考えると地元出身者が望ましいのですが、それにこだわりすぎると単なる地元の祭りになる恐れがあることから、「作り手の意図が感じられる質の良いものの提供」という点も大事にしました。

実行委員会では他地域の事例を視察するなど、運営ノウハウの取得を心がけました。マーケットの開催は 10 時から 15 時ですが準備と後片付けを含むと 6 時半から 17 時までかかり、これを毎月実行委員会や地元ボランティアだけで行うとなると大変で、1 年

目はメンバーから「止めよう」という声もあったとのことです。

しかし、2回目の開催から地元大学の学生が運営に参加するようになり、その経緯から大学の先生が実行委員会に加わり、2018年5月には商店街内に大学のサテライトキャンパスができました。

マーケット初年度は出店者と来街者へのアンケートを実施し、事業の改善に役立てました。そのことから、出店者、来街者ともに満足度が上がり、いずれからもリピーターが増えています。特に、出店者からは「他地域のマルシェより比較的高額なものが売れる」との声があります。これは商店街の商店主も感じており、「フリーマーケット」とは客層が違うようです。

継続してきたことにより、認知度は確実に高まっており、現在、マーケットは2,000人近くの集客力を誇っています。8名から始まった実行委員会は20名ほどに、出店者も50名を超える規模となり、場所の確保等運営面の関係から選考を行うような状況です。このようなことから商店街の商店主の理解も進み、一部の店舗ではマーケットに合わせ店頭でワゴンを展開することも起こっているようです。

#### ■活動の広がり

ただ、にぎわいはマーケット当日に止まっており、空き店舗も埋まっていませんし、人通りが増えたわけでもありません。そこで新たな取り組みを改めて実行委員会で検討を重ねた結果、「自分たちでシャッターを開け、日常のにぎわいをつくろう」となりました。具体的には空き店舗の



アーキテンポのチラシ

「厨房付きレンタルスペース」へのリノベーションです。

物件は公庄氏の紹介で見つかった 30 年ほど空いていた元紳士服店です。設備はワンダーマーケット出店者の次のステップをと1 日単位でのレンタルショップも想定して厨房付きとしましたが、実行委員会に潤沢な予算があるわけではなく、実行委員会メンバーからの出資金、京都府や民間の助成金を活用し、工事は自らとボランティアでの DIY、厨房機器は地元企業から譲り受けものを再利用し、それでも足らない部分はクラウドファンディングを活用しました。

2019年4月28日にオープンし、店名は「アー

キテンポ」としました。開店してまだ半年程度ですが、 実際にマーケット出店者が飲食店を、地元事業者が 別事業としてラーメン店やバーなどを開いており、稼 働率は想定以上となっています。

### ■今後に向けて

アーキテンポができたことにより「起業家のマーケット出店によるファンづくり→レンタルスペースでの運営ノウハウの取得→商店街内空き店舗での開業」という道筋は作れました。稼働率が高いことから「空き店舗を埋める」という目的は達成されるでしょう。しかし、それを1店1店増やしていくには、入口であるイベント出店者のすそ野を広げることと、より高い起業家精神の持ち主を集めることが望まれます。

他方、実行委員会は地元有志の集まりであり、市 民や学生などのボランティア (一部有償) に頼ってい ます。そのため、組織の安定した運営が課題で、課 題達成のため法人化を検討されています。

公庄氏によるとワンダーマーケットの定着と、商店街と学生との交流で明らかに空気は変わったとのことです。商店街・実行委員会(支援事務局)・大学・行政と関係が円滑なことからから今後の展開が期待されます。

(中小企業診断士 志賀 公治)



新町商店街・ワンダーマーケット関係者の皆さん

### 新町商店街事業協同組合

住 所:京都府福知山市下新

理事長:福島 慶太

### 福知山ワンダーマーケット実行委員会

代 表: 庄田 健助・美作 歩

ホームページ:

https://wonderfukuchiyama.jimdo.com/

Facebook:

https://www.facebook.com/FukuchiyamaWonder/

## お店拝見

ファンが通うこだわりのパン屋さん

### パン工房幸福堂

JR 播但線福崎駅からすぐ、ダークブラウンのドアと緑のテントがおしゃれな小さなお店が「パン工房 幸福堂」です。かわいらしいハリネズミのロゴマークや、店前の看板からも、素朴ながらもおいしいパンがありそうな気配が漂っています。





### 1 高単価でも大人気

幸福堂は2018年11月に開業しました。1年たった今、すでにたくさんの地元のお客様に支持され、40種類ほどのパンが夕方には品薄になってしまうほどの人気です。

一番の人気は食パンで、売上の30%を占めます。 しっとりした幸福食パンと、もっちりした湯種食パン が代表商品です。また湯種食パンと同じ生地でバター





人気の湯種食パンと塩パン

を包んで焼き上げる塩パンも、岩塩とオリーブオイルがアクセントとなり、シンプルながらクセになる味わいです。休日なら1日100個売れるほどの人気となっています。

価格帯は地域では少し高めで、食パンが1斤350円前後、惣菜パンは200円前後が中心です。それでも根強いファンがついており、週に3回買いに来る人、毎回3本購入してギフトにする人、10キロ以上離れた神河町から通ってくる人など、他には代えがたいパン屋さんになっていることが伺えます。ファンからの推薦で神戸新聞「奥さま手帳」にも掲載され、開業時は少し取り組んでいた広告宣伝も、今は必要がなくなってしまいました。

開業前に売上計画を作成していたときは、高めの 単価もあってか、アドバイスしてくれていた商工会の 担当者に「少し楽観的すぎるのでは?」と心配され たほどでした。しかし今では、増加を予測して作成し ていた3年目の売上計画をも上回る業績だそうです。

#### 2 会社員時代に作れなかったこだわりのパンを

人気の秘密は、身体によくておいしいこだわりの パンです。

店主の多田幸央さんは、実はパン業界一筋のキャリア。会社員としてパン屋さんにマネジャー職で入社し、職人からパン作りを学び、数店舗を統括するマネジャーや、商品開発や店舗開発に至るまで活躍していました。

しかし会社では、顧客層にあわせたマーケティング戦略もあり材料や価格帯の自由度が低く、こだわったおいしいパンを作ることは許されない状況でした。そんな中、研究のため他店をまわっていたときに理想的なパン屋さんに遭遇し、「こんなパン屋さんを開業したい」と惚れ込んだそうです。退職後たまたまその店舗で求人があることを発見し、修行のため1

年ほど勤務し、開業に至りました。

そうして生まれた幸福堂のパンは、「無添加で健康志向のパン」として喜ばれています。最大の特徴は、白神(しらかみ)こだま酵母という白神山地の腐葉土から発見された天然酵母を使っていることです。イーストくささがなく、香りのよいパンに仕上がります。また食パンやフランスパンには前日から仕込む長時間発酵の「ボーリッシュ製法」を採用しており、小麦粉本来の甘さを引き出すことができます。

ほかの材料も、小麦粉は国産小麦のみ、バターは 北海道産の四葉バター、砂糖はミネラル豊富な国産 のてんさい糖、などなど妥協のないラインアップです。 知人が生産している有機野菜も季節ごとに惣菜パン などに取り入れています。栄養士である多田さんの 妹さんの助力も得て、身体によい商品開発だけでな く、商品に使われている食材の特徴や栄養面などの 情報提供にも力を入れています。



こだわりをわかりやすく表示

#### 3 助成金を利用して思い切った投資

開業時には、商工会からの紹介で当センターの「商店街新規出店・開業等支援事業」を利用しました。 商工会では親身になって計画づくりを支援してもらえたといいます。

費用の一部を助成するこの事業ですが、多田さんはこの支援をきっかけに、当面は無理だと諦めていた生産用の設備を思い切って導入することを決めました。おかげで商品の幅が広がり、導入して本当によかったと考えているそうです。

開業時には不安が先立ち、投資額を控えることに 目が行きがちです。結果論ともいえますが、お店の 魅力を高めるための投資を積極的にすることで、成 功につながりやすくなるという好例となりました。

### 4 地元の発展に寄与したい

実は多田さんは、当初はもともと勤務していた阪神間での開業を目指して物件を探していたそうです。しかし、出身地である福崎駅前にちょうどいい物件があることがわかり、急遽 U ターンでの開業を決めたそうです。地域と商品の相性が合うのかどうか不安もあったとのことですが、結果的に地域の方々に受け入れられました。

今後は、感謝も込めて地域の発展に少しでも貢献 できるお店にしていきたいと考えています。すでに駅 前の観光協会の中にあるカフェとコラボし、ホットサ

ンドを提供する話も進めています。また福崎の特産であるもちむぎを使った食パンも開発中で、この号が発行されるころにはお店に並んでいる予定とのことです。

もちむぎの風味を活かしたおいしい食パンも、きっと地域に愛され、お土産にもなるような人気商品となることでしょう。



(中小企業診断士 箕作 千佐子)



右から多田幸央さん、小西瑞綺さん、多田陽子さん

### 略 パンエ房 幸福堂

住 所:神崎郡福崎町福田 299-5

代 表:多田 幸央 電 話:0790-35-8843

営業時間:8:00~18:00(売りきれ次第閉店)

定休日:日曜日

### オープンしました

(公財) ひょうご産業活性化センターでは、商店街や小売市場の空き店舗に新たに出店される方を 支援するために、店舗賃借料や改装工事費等を助成しています。

今回、新たに下記の3店舗が開店しましたのでご紹介いたします。







### 店舗名 パーチ・ゲストハウス 「カフェ部分のみ助成対象

- 商店街・小売市場名 龍野川西商店会
- ●住 所 たつの市龍野川原町 218 - 1
- ●雷 話 0791-72-9880
- ●開 日 令和元年 7 月 1 日

お店の自慢 ポイント

江戸時代に形成された町割りや軒が低く大壁造の古式な町 家や醸造等に関わる土蔵等が多く残る龍野城下町にオープ ンしたカフェ&バーでは、宿泊以外のお客様も来店され、 自慢のスイーツなどをお楽しみいただけます。





### Distal 鉄板 お好み焼き りょうちゃん Distal

- 商店街・小売市場名 **小林商栄会**
- ●住 所 宝塚市小林5-4-24 ジャルダン宝塚 B1
- ●雷 話 0797-77-7788
- 業 日 令和元年 10月7日 ●開



目の前の鉄板で作られる料理を見ながら、最後まで熱々の まま美味しく召し上がって頂けます。長年のラーメン店で の経験を活かし、自家製鶏ガラ出汁で作ったお好み焼きは、 あっさりの中にもコクがある自慢の一品です。



### 空腹は最高のスパイスカレー ®®®

- ●商店街・小売市場名 夙川サンらいふ
- ●住 所 西宮市西田町5-2
- ●雷 話 080-4823-2769
- 日 令和元年9月11日 ●開





お店の自慢 ポイント

昨年9月にオープンしたスパイスカレー店! どなたでも楽しめる個性的なオリジナルメニューを用意し てお待ちしております★あなたのお気に入りメニューを探 しに、ご家族、ご友人と是非お立ち寄り下さい。

商店街や小売市場の空き店舗で新たに出店を お考えの方は当センターまでご相談ください。

バックナンバーの閲覧は

商ひょうご

検索



### 公益財団法人 ひょうご産業活性化センター 経営推進部 経営・商業支援課

〒650-0044

神戸市中央区東川崎町1丁目8番4号 神戸市産業振興センター2階 TEL 078-977-9116 FAX 078-977-9119

URL https://web.hyogo-iic.ne.jp/ E-mail center@staff.hyogo-iic.ne.jp 休業日/土•日•祝祭日•年末年始